

事務事業名		小学校スクールバス運行事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課
	政策	1	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり				担当係	総務係	担当課長名	吉田 重弥	
	施策	2	安全で安心して学べる教育環境の整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3	地域ぐるみで行う児童生徒の安全対策の充実				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	13101	一般	10	2	1	小学校スクールバス運行事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S55年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		教育・指導事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
佐野市内3小学校の通学距離4KM以上の児童を対象として、直営または委託によりスクールバス運行を行う。 また各小学校の校外学習の際、市内及び隣接する市町を運行範囲としてバスで送迎を行う。予約方法は各学校より電話による仮予約の後、申請書を提出し、完了となる。			毎月、月ごとの登下校時間予定表が各学校より送られてくる。 毎日時間厳守で運行 校外学習の予定の時は、その都度配車を行う。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			通学の時の利用人数	人	34	31	31	31		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
①通学距離4KM以上の3小学校の児童 ②佐野市立小学校児童			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			スクールバス利用児童数	人	34	31	31	31	31	
			佐野市立小学校児童数	人	6,187	6,083	5,983	5,896	5,848	
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
①安全に遅刻することなく小学校へ通学できる。 ②校外学習をスムーズに行うことができる。			時間どおりにスクールバスが運行した日数/スクールバス運行全日数	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
			スクールバスを利用して校外学習を行った小学校/市内全小学校数	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
安全に通学することができる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			安全支援ボランティアの登録数	人	345	340	432	432	432	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	9,280	13,458						
	事業費計(A)	千円	9,280	13,458	0	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			需用費	1,773	需用費	406				
			役務費	217	役務費	50				
委託料			7,124	委託料	12,866					
賠償金			33	公課費	136					
公課費			133							
人件費	人	4	1							
のべ業務時間	時間	880	300							
人件費計(B)	千円	3,424	1,182	0	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	12,704	14,640	0	0	0				

事務事業名	小学校スクールバス運行事業	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課	担当係	総務係
-------	---------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	氷室小は秋山小の廃校に伴い昭和55年より、野上小は作原小の廃校で昭和59年、葛生小は会沢小の廃校で平成16年開始である。野上小は、24年から三好小に統合となり、バスは三好小の送迎となった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	通学の対象者数は、過疎化に伴い減少傾向にある。 校外学習の時の利用は、総児童数の減少・学校行事の精選はあるが、件数的には横ばいである。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	小規模校からは宇都宮へ行く場合などもバスを使用したいという要望もある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	スクールバスを時間通りに安全に運行することは、児童を安全に通学させるという上位の成果指標におのずと結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市立の小学校であり、統廃合により通学距離が長くなったのであり、当然に市が行う。しかしながら、委託事業として、バスの管理を含めて、民間委託している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	4kmを超える通学距離の児童、あるいは校外学習の利用者など対象は適切である。意図は安全な通学ということで妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	運転業務の外部委託については、長期継続契約により入札で行っていることから、これ以上の効率化はむずかしく、成果向上余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	4kmを超える通学距離の児童、あるいは校外学習の利用者など対象は適切である。委託業者が法外に安価な委託料でバスを走らせると、安全な通学ということでは、適当でない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	受益者は特定の市民であるが、義務教育であり小学校の統廃合によりできたスクールバス運行事業なので、受益者負担を求める必要がない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	スクールバス利用者が皆無となれば廃止となる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			